

グラスサウンドスピーカー

使用上の注意／主な仕様

LSPX-S2



* 4 7 4 8 3 2 4 0 3 * (1)

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠️ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書には重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠️ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほこりがたまっているか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- 電源を切る
- USB ACアダプターをコンセントから抜く
- ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠️ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

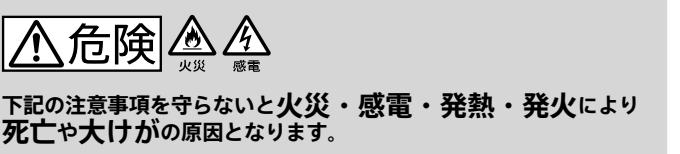
注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



付属以外のUSB ACアダプター、マイクロUSBケーブルを使わない

家庭用電源で使用するときは、必ず付属のUSB ACアダプター、マイクロUSBケーブルを使用してください。
内蔵充電池の液漏れや破裂、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



火の中に入れない

内蔵充電池が破裂したり、液が漏れたりして、火災やけがの原因となることがあります。



分解しない

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない

内蔵充電池の液漏れや破裂、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



電池が液漏れしたり、異臭がする時にはただちに火気より遠ざけてください。



⚠️ 危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。



液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。



液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



下記の注意事項を守らないと火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となります。

車の中で使用しない

スピーカー本体がブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故やけがの原因となることがあります。



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない、火炎源の近くで使用しない

火災や感電の危険をさけるために、USB ACアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、USB ACアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。本機およびUSB ACアダプターの上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。



万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



本機側面およびUSB ACアダプターの端子に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。



落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、傷をつけたりしない

有機ガラス管が破損したり、落下して破片が飛散したりすると、けがの原因となることがあります。特に本機を持ち運ぶ際や、本機のお手入れの際には、ご注意ください。



雷が鳴りだしたら、USB ACアダプターに触れない

本機やUSB ACアダプターなどに触ると感電の原因となります。



ぬれた手でUSB ACアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。



USB ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する
USB ACアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常に生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。コンセントに接続されている限り、完全に電源から切り離せません。



自然放熱を妨げない

本体やUSB ACアダプターに布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。自然放熱の妨げになり、過熱による変形や火災・感電の原因になることがあります。



⚠️ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

特定の状況下では、ワイヤレス機能を使用しない

本機はワイヤレス機能を内蔵しています。以下の点に注意してご使用いただき、障害などが発生した場合には、本機のワイヤレス機能を使用しないようにしてください。



また、緊急の場合は、ただちに本機の電源を切ってください。

・混雑した場所や病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しない。

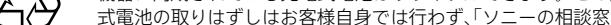
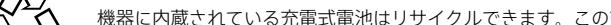
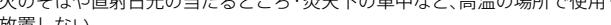
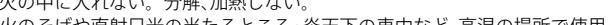
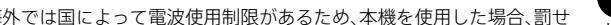
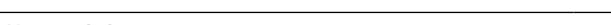
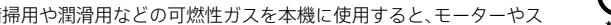
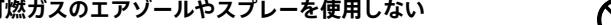
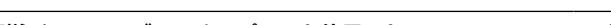
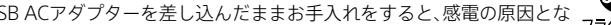
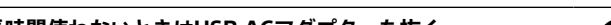
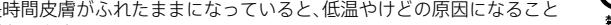
電波が影響を及ぼし、ベースメーカー・医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

・本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ただちに使用をやめる。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

・本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



・本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
・その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。



ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。
<http://rd1.sony.net/help/speaker/sl/19s2/>

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様には、添付のGPL/LGPLの条件にしたがい、これらソフトウェアのソースコードの入手、変更、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名「LSPX-S2」をお選びください。

URL: <http://oss.sony.net/Products/Linux>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

アップデートに関する注意

本機は、無線LANでインターネットに接続してご使用になる場合、ソフトウェアを、自動で最新にアップデート（更新）する機能を有しています。

アップデートすることで、新しい機能が追加されたり、より便利かつ安定してご使用になることができます。

ソフトウェアを自動でアップデートさせたくない場合は、スマートフォン/iPhoneにインストールした“Sony | Music Center”を使って、本機能を無効にすることができます。

ただし、本機能を無効にしても、安定してご使用いただくため等により、ソフトウェアを自動でアップデートすることができます。

また、本機能を無効にしても、お客様の操作で、システムソフトウェアをアップデートすることは可能です。

詳しい設定方法、操作方法は、ヘルプガイドでご確認ください。

ソフトウェアアップデート中は、本機をご使用いただけない場合があります。

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対していかなる責任も負いません。

プライバシーポリシーについて

“Sony | Music Center”を使用して製品の使用状況等に関する情報収集にご同意いただいたお客様へ

ご同意いただいたプライバシーポリシーは、こちらからご確認いただけます。

<http://policies.sony.net/vs/01/index.html>

一度ご同意いただいた場合でも、お客様が“Sony | Music Center”的設定メニュー*上で情報収集を拒否された場合、または、本機を初期化された場合、弊社は情報収集を中止いたします。(本機の初期化については、取扱説明書の「本機を初期化する」をご覧ください)。

* 2018年11月1日現在、Android版のみ。

ワイヤレス技術について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

・本機を分解／改造すること

無線LAN機能について

本製品内蔵の無線LAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「WPA/WPA2、Wi-Fi Protected Setup™（WPS）」について認証取得しています。

BLUETOOTH機器について

本機が対応するBLUETOOTHバージョンとプロファイルについては「主な仕様」の「BLUETOOTH部」をご覧ください。

本製品の使用上の注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については本書をご覧ください。

2.4DS/OF4

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

2.4FH/XX8

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、与干渉距離は80 mです。

5GHz機器使用上の注意事項

IEEE 802.11a/b/g/n
IEEE 802.11a/n
J52 W52 W53 W56

・本製品が使用するチャンネルは左の通りです。

・5 GHzワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。

主な仕様

スピーカー部

使用スピーカー

有機ガラス管型トゥイーター、35 mmウーファー

エンクロージャー方式

パッシブブリジエーター方式

周波数域

60 Hz ~ 40,000 Hz

アンプ部

実用最大出力

ウーファー : 11 W (全高調波歪10%以下、1 kHz、4 Ω) (JEITA*)

出力数

4 CH (トゥイーター×3 CH、ウーファー×1 CH)

* JEITAは（電子情報技術産業協会）の略称です。

ネットワーク部

通信方式

IEEE 802.11 a/b/g/n

セキュリティ

WEP 64 bit、WEP 128 bit、WPA/WPA2 PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP)

使用周波数域

2.4 GHz、5 GHz

BLUETOOTH部

出力

BLUETOOTH標準規格Power Class 2

最大通信距離

見通し距離約10 m*2

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

通信方式

BLUETOOTH標準規格Ver. 4.2

変調方式

FHSS

対応BLUETOOTHプロファイル*3

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

対応コーデック*4

SBC⁵、AAC⁶、LDAC⁷

対応コンテンツ保護

SCMS-T 方式

伝送帯域(A2DP)

20 Hz ~ 20,000 Hz (44.1 kHz サンプリング時)

*² 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。

*³ BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したもので

*⁴ 音声圧縮変換方式のこと

*⁵ Subband Codec の略

*⁶ Advanced Audio Codingの略

*⁷ LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBLUETOOTH経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。

電源部・その他

入力

AUDIO IN端子(Φ3.5 mm ステレオミニジャック)

電源

DC 5 V 1.5 A (付属のUSB ACアダプターを接続してAC100 V~240 V電源から使用)、内蔵リチウムイオン充電池を使用

消費電力(USB ACアダプター使用時)

約11 W (内蔵電池充電中およびイルミネーション輝度最大時)

約0.2 W (待機時、ネットワークスタンバイ機能オン)

約0.2 W (待機時、ネットワークスタンバイ機能オフ)

内蔵リチウムイオン充電池の持続時間

BLUETOOTH (SBC) 接続時：約8時間*8

ネットワーク接続時：約8時間*8

充電池充電時間

約5時間*8

使用温度範囲

5°C ~ 35°C

最大外形寸法(最大突起部含む)

約Φ90 mm×277 mm

質量

約1.1 kg (充電池含む)

付属品

USB ACアダプター (1)

マイクロUSBケーブル (1)

クリーニングクロス (1)

取扱説明書 (1)

使用上のご注意／主な仕様(本書) (1)

*⁸ 周囲の温度や使用状態により、上記の時間と異なる場合があります。

機銘板や重要な情報は本機の底面やUSB ACアダプターの表面に表示してあります。

無線LANのMACアドレスは、本機の底面に表示してあります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

本機で使用できるiPhone/iPodについて(2018年11月現在)

iPhone X、iPhone 8 Plus、iPhone 8、iPhone 7 Plus、iPhone 7、iPhone SE、iPhone 6s Plus、iPhone 6s、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPod touch (6th generation)

本機につないだiPhone/iPodを使用中に、iPhone/iPodに保存されたデータが消失・破損しても、弊社では一切責任を負いません。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

ヘルプガイド(<http://rd1.sony.net/help/speaker/lpx-s2/ja/>)に記載の「よくある質問」をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。修理をご依頼の際は、付属のマイクロUSBケーブル、USB ACアダプターを本体と一緒に持ちください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について